



# 規制作業中の のり面火災

## ■事故発生後の対応

現地作業中止。

消火活動のために走行規制設置作業を継続。

## ■時系列

8:00 標識設置開始

9:10 規制テーパー設置開始

9:20 のり面火災発生

9:20 現地から管制及びメンテ・■■■■へ連絡

9:35 事業所■■■■からメンテ本社、■■■■課長へ連絡

9:35 消防現地着、走行規制内で消火活動開始

9:55 のり面鎮火確認

10:50 消防による検分完了:発炎筒に起因する火災と確定

13:30 緊急安全大会を実施。

## ■今後の対策

- ・発炎筒のころがり防止の徹底
- ・規制設置時の監視の更なる徹底。

・(追加対策)発炎筒使用時は、着火から消火にいたるまで、**簡易消火剤**を携行する。

スプレー式簡易消火剤



# 規制作業中の のり面火災

## 位置図

119.2KP 120.0KP



至)松阪IC

至)勢和多気JCT

# 規制作業中の のり面火災



# 規制作業中の のり面火災



## 対策の検証

点火した発炎筒を下記3点の方法により消火検証する。  
(実際にはのり面の火災であり発炎筒を消火するものとは趣旨が違う。)

- ① 500ccのペットボトルの水をかけて消火
- ② スプレー式簡易消火剤(ブロックショット)を噴射し消火
- ③ AS路面に擦りつけて消火

### 検証①

燃焼中の発炎筒に水をかけても筒の中で燃焼している火薬まで消火することは困難である。

### 検証②

ブロックショットを噴射すると比較的スムーズに消火する。明らかに水で消火するより容易に消火できる。

### 検証③

最も容易に消火できる。燃焼面をAs路面に押さえつけ、消火することが最も容易で早い方法である。  
本線上の本テーパー上流の危険な仮テーパー部の消火作業である事から素早い作業が必要であり上記方法が最良である。

スプレー式簡易消化剤は万一、法面等への飛び火の初期消火のために携行する。

## 対策の検証



① 500ccのペットボトルの水をかけて消火



② スプレー式簡易消火剤(ブロックショット)を噴射し消火



③ AS路面に擦りつけて消火



# 規制作業中の のり面火災

## 対策の検証

### 安全・無公害の 新世代型消火具

ブロックショットは環境に優しく、毒性のない火災用消火剤を使用したワンタッチスプレー式簡易消火剤です。

#### 人畜無害

毒性がなく非腐食性

この消火液は、植物や海草を原料としているため人体や動植物に対して害を与えることはありません。そのため、体・服に噴射することでやけどから人を守ります。

通常の消火剤は毒性・腐食性があり、人体などに危険を及ぼす可能性があります。

#### 鎮火能力

再発火防止

急激に燃焼温度を冷却させるため、強力な鎮火力があり再発火(燃料元を発火点以下にする)予防ができます。

他の消火剤は空気を包み遮断するだけなので、直で再発火の可能性がります。

#### 長期保存

交換無用

この消火具は噴出するためのガスを使用しておりません。容器内部が4層の特殊パックに入っているため、溶剤との混合もしていないので交換年数がありません。ただし、缶が腐食した場合は交換時期になります。

一般的な消火具は溶剤とガスを混合してガス圧により噴出しているため、交換時期が2~3年に指定されている場合がほとんどです。

#### 簡単・安全

ワンタッチスプレー式

特殊パック構造のため、360°どの角度からも噴出することができ、お年寄りや子どもでも簡単に扱うことができます。

ガス圧により噴出する消火具は45°以上傾けると消火液が噴出されません。

#### 車内保管

100℃まで対応

120℃の耐火試験の結果、100℃の環境でも何ら問題なく消火液を噴射することが実証されました。車載が可能です。そのため出先での初期消火に対応可能です。

他の消火具は使用範囲が+40℃までになります。



### 安全・無公害・環境にもやさしい BLOCK SHOT

液体 万能 消火

一般家庭・工場・自動車設置対応



ブロックショット

#### 初期火災時に効果発揮



#### 液体式簡易消火具

使用温度範囲	-5℃~100℃
品質保証期間	保証表示期限内
放射距離	2~4m
放射時間	約1分
消火剤の 名称および量	水(炭酸水等入り) 240g
標準総寸法φ×H	45mm×10g
メーカー保証価格	2,790円(税込)

#### 【取扱い上の注意】

●無断に分けて放射できませんが再使用の場合は、新しいものを用意下さい。●使用した容器は火の中に投げ込まないで下さい。●幼児の手が届かない所に保管して下さい。●初期消火の目的以外には使用しないで下さい。●感電機器には故意に放射しないで下さい。

#### 【使用方法】

●キャップを取り、噴射口を火光に向けてボタンを押おして下さい。●火光から2~3m離れた場所で使用して下さい。

※ラジエーターなど冷却液部の緊急時に応用剤として使用することもできます。

#### 中日本高速道路株式会社

名古屋市中区錦 2-18-19 〒460-0003

NEXCO日本お客様センター  
TEL 0120-922-229 (受付時間) | FAX 052-223-0333



お求めはWebで今すぐ

車内安全

車を守る  
人を守る

BLOCK SHOT

液体  
万能消火

車を守る  
初期消火で  
最小限に抑えます。

人を守る  
体・服に噴射して  
やけどから守ります。

急速  
冷却